



インフルエンザ、手足口病、流行性耳下腺炎、そして、新型コロナウイルス感染症などの感染症は、人が飛ぶ「飛まつ」が感染の原因になっています。また、ウイルスをふくむ飛まつにふれて手から感染する「接触感染」にもつながるので、飛まつがからどの中にはいらないようにすることが予防になります。

「飛まつ」とは

くしゃみやせきなどで口から飛ぶつばのこまかいしぶきのことを「飛まつ」といいます。大きさは目に見えるものから、0.005mmくらいの目に見えない小さなものまであります。

くしゃみ



せき



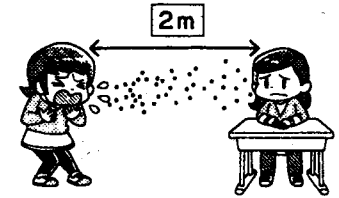
会話



また、ウイルスに感染した人が飛ぶ飛まつの中には、ウイルスがはいっていることがあります。ほかの人にうつってしまいます。

飛まつはどれくらい飛ぶの？

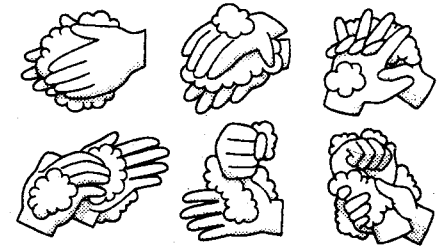
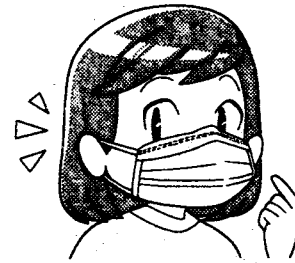
くしゃみ・せき・会話などで飛まつが飛びよりにはちがいますが、くしゃみでは、約2m飛ぶといわれています。



また、飛ばされた飛まつは気がつかないうちに、ほかの人の鼻や口の中にはいってしまうことがあります。

飛まつによるウイルスの感染を防ぐには

- マスクをつける。
- 手のすみずみまで石けんをつけてあらう。



- こまめに換気する。
(空気中の飛まつを外にだす。)
- ほかの人と1~2mのきよをとる。
(飛まつの飛びよりは2m)

